

## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 山喜株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3598 URL <https://www.e-yamaki.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白崎 雅郎  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部門長 (氏名) 中田 一裕 TEL 06-6764-2211  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

## (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	8,692	1.8	299	—	321	—	251	—
2023年3月期第3四半期	8,538	15.0	△104	—	△37	—	△29	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 315百万円 (—%) 2023年3月期第3四半期 △162百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	17.74	17.66
2023年3月期第3四半期	△2.09	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	11,491	4,204	36.5
2023年3月期	12,279	3,890	31.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 4,191百万円 2023年3月期 3,873百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2024年3月期の配当につきましては、現時点では未定としております。

## 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,300	7.9	267	—	250	—	180	△61.6	12.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	14,950,074株	2023年3月期	14,950,074株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	773,183株	2023年3月期	781,883株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	14,173,948株	2023年3月期3Q	14,168,191株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、行動制限の解除により、個人消費やインバウンド需要の回復などで、経済活動が正常化に向かう一方、国際情勢に起因するエネルギー資源や原材料価格の高騰、および為替の変動などによる物価上昇が、消費マインドや企業活動に影響を及ぼしており、依然として不透明な状態が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましては、販売価格の見直しや在庫販売の促進に加え、得意先の店頭売上も増加傾向にあることから、業績は回復基調にあります。

また、売上の拡大と収益の回復を目的に、2023年度からスタートした「新中期3ヵ年経営計画」の施策を確実に実行していく中、売上高の増加とともに収益面でも黒字基調に転じております。なお、2023年度からスタートしている「新中期3ヵ年経営計画」の基本方針に対する進捗状況は、以下のとおりであります。

#### ① オリジナルブランドの構築

百貨店チャネルのドレスシャツ売場におきましては、継続して実施している「CHOYA」ブランドのコーナー化・一社化・ショップ化の営業政策により、既製ドレスシャツのシェアは75%、同じくオーダーシャツのシェアも75%と高水準を維持しております。既製ドレスシャツにつきましては、「CHOYA」ブランドの超形態安定シャツ・スリムフィットに加え、地域特性・店舗特性に適応した新たなスタイルと価格のバリエーションを提案強化しており、さらなるFAN獲得を図ってまいります。オーダーシャツにつきましては、ライセンスブランドの絞り込みに伴い、「CHOYA」ブランドの品揃えを充実させるなど、店頭フェイスの拡大を図ることで、お客様への認知度をアップさせております。量販店チャネルにおきましては、「SHIRT HOUSE」ショップ名のコンセ売場が前連結会計年度末の109店舗から当第3四半期連結会計期間末では116店舗まで増加しております。復活を目指す「SWAN」ブランドにつきましては、2023年春夏物から展開しているお手入れが簡単なトリコット素材を使用した既製ドレスシャツが好調に売上を伸ばしており、さらにコンセプト・ラインを拡げることで、「SWAN」ブランドの売上拡大・FANづくりに努めてまいります。

#### ② B to Cの強化による収益アップ

消費者直販型事業(B to C)の強化におきましては、自社サイトである山喜オンラインショップの会員数が、前連結会計年度末の26,651名から、当第3四半期連結会計期間末では31,562名にまで増加し、売上も前年同期を上回っております。ネット販売における営業人員の補充が完了しており、今後はカスタマーサービス、およびエンジニアなどの人材補充による運営体制の強化を進めてまいります。また、システム面では、検索強化ツールなどの導入により、さらなる売上・収益の拡大を図ってまいります。

百貨店チャネルの既製ドレスシャツ・オーダーシャツ売場の消費者直販型事業におきましては、取引形態の消化売上移行による条件改定、小売価格のアップ等により、収益が拡大しております。今後は売上の大きい店舗での販売員増員によるシェアアップを図り、継続的に進めている消化売上店舗の拡大と、直営店の新規出店も視野に入れ、収益拡大に努めてまいります。

量販店チャネルの消費者直販型事業である「SHIRT HOUSE」におきましては、小売価格の見直し、コーディネート販売の強化、店頭販売員のスキルアップのための教育などを徹底したことにより、売上・収益面ともに順調に推移しております。引き続き、1店舗あたりの運営効率を向上させるために、販売員付きのコンセ売場の坪数を拡げ、フェイスの拡大を図ってまいります。

#### ③ ドレス・カジュアル・レディース・ユニフォームの新商品開発と売上拡大

ドレスシャツにおきましては、2023年秋冬物が残暑の影響を受け、一部苦戦を強いられましたが、前期から継続して実施している納品価格交渉の成果と、為替予約方法の見直しにより、粗利率は改善できました。

カジュアルにおきましても、防寒アウターなどは暖冬の影響を受けましたが、シャツアウターが好調で、厚手のシャツ生地を使った商品が拡大傾向にあります。レディースにおきましては、ウォーム感を持たせた微起毛素材に静電気防止加工を施したブラウスが好評で、ユニフォーム関連におきましても、トリコット素材を使用した商品が好調に推移しており、イージーケア性に優れた同素材を使用したスクールシャツの提案など、新商品を強化することで、売上の拡大を図っております。

また、2024年秋冬物に向けては、トリコット生地に微細な柄表現を施した昇華転写プリントのメンズシャツ&レディースブラウス、温感・調温加工素材、透湿撥水機能アウターなど、新商品の提案を強化し、受注拡大に努めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、連結売上高86億92百万円(前年同期は85億38百万円)、営業利益2億99百万円(前年同期は1億4百万円の損失)、経常利益3億21百万円(前年同期は37百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益2億51百万円(前年同期は29百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は114億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億88百万円減少いたしました。この主な要因は、製品の減少等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は72億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億1百万円減少いたしました。この主な要因は、短期借入金の減少等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は42億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億13百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、今後の為替相場の状況や季節変動の状況により不透明な為、現時点におきましては、2023年5月15日の「2023年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想の修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,190,003	2,244,976
受取手形、売掛金及び契約資産	1,916,136	1,783,252
製品	3,676,238	3,199,011
仕掛品	94,324	69,998
原材料	190,219	208,017
その他	879,030	648,740
貸倒引当金	△210	△210
流動資産合計	8,945,742	8,153,788
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	796,792	807,057
機械装置及び運搬具（純額）	47,114	39,376
土地	1,917,436	1,937,435
その他（純額）	26,686	22,463
有形固定資産合計	2,788,029	2,806,332
無形固定資産	417,334	390,849
投資その他の資産		
投資有価証券	78,265	93,381
退職給付に係る資産	2,071	11,268
その他	49,561	37,247
貸倒引当金	△1,721	△1,721
投資その他の資産合計	128,176	140,175
固定資産合計	3,333,540	3,337,357
資産合計	12,279,283	11,491,145
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,737,351	1,405,274
短期借入金	3,750,611	3,199,723
1年内返済予定の長期借入金	589,466	616,307
未払法人税等	71,463	41,719
契約負債	362,677	382,448
賞与引当金	20,400	28,624
その他	476,222	514,262
流動負債合計	7,008,191	6,188,361
固定負債		
長期借入金	1,172,721	881,585
繰延税金負債	9,026	16,428
再評価に係る繰延税金負債	121,522	121,522
退職給付に係る負債	53,418	57,494
その他	23,593	21,630
固定負債合計	1,380,281	1,098,661
負債合計	8,388,472	7,287,022

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,355,227	3,355,227
資本剰余金	2,193,031	2,192,974
利益剰余金	△1,492,621	△1,241,180
自己株式	△158,086	△156,327
株主資本合計	3,897,551	4,150,694
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,926	31,444
繰延ヘッジ損益	△44,293	△36,614
土地再評価差額金	105,710	105,710
為替換算調整勘定	△83,791	△44,789
退職給付に係る調整累計額	△22,526	△15,159
その他の包括利益累計額合計	△23,974	40,592
新株予約権	14,530	12,836
非支配株主持分	2,702	—
純資産合計	3,890,810	4,204,123
負債純資産合計	12,279,283	11,491,145

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	8,538,482	8,692,135
売上原価	6,467,748	6,157,726
売上総利益	2,070,733	2,534,409
販売費及び一般管理費	2,175,231	2,234,577
営業利益又は営業損失(△)	△104,497	299,831
営業外収益		
受取利息	1,288	7,916
受取配当金	1,600	2,167
仕入割引	11,481	12,611
為替差益	76,420	45,457
助成金収入	14,426	1,172
その他	10,588	9,635
営業外収益合計	115,805	78,959
営業外費用		
支払利息	42,192	46,533
支払手数料	1,494	750
支払割引料	4,725	4,560
その他	708	5,202
営業外費用合計	49,120	57,047
経常利益又は経常損失(△)	△37,812	321,743
特別利益		
固定資産売却益	324	—
債務免除益	21,048	—
関係会社清算益	—	1,511
特別利益合計	21,373	1,511
特別損失		
固定資産除売却損	41	4,160
投資有価証券売却損	1,386	—
関係会社清算損	—	8,424
特別損失合計	1,427	12,585
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△17,866	310,669
法人税、住民税及び事業税	12,744	49,909
法人税等調整額	—	10,130
法人税等合計	12,744	60,039
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△30,610	250,629
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△997	△810
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△29,613	251,440

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△30,610	250,629
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,696	10,518
繰延ヘッジ損益	△112,697	7,678
為替換算調整勘定	△21,650	39,558
退職給付に係る調整額	△5,582	7,367
その他の包括利益合計	△132,234	65,122
四半期包括利益	△162,844	315,751
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△162,856	318,453
非支配株主に係る四半期包括利益	11	△2,702

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。